

議 事 要 旨

【日 時】 令和3年10月7日（木） 18:30 ～ 20:15

【場 所】 TV 会議（佐世保市中央保健福祉センター5階 健康危機管理オペレーション室）

【出席者】 委員7名全員出席

（事務局等） 野村保健福祉部長、井上保健所長、兼医療政策課長、井原医療政策課主幹、久地浦主査

（佐世保市総合医療センター） 神崎専務理事、小村事務部長、南川事務部次長、他職員

（北松中央病院） 東山理事長、田中事務部長、前田看護部長、岡本副看護部長、富本経理課長

◆評価委員会各委員のおもな質疑・意見

■議題2 北松中病院令和2年度の業務実績評価について

○補助金がたくさん入ってきたため1.7億円の純利益が出ているとあるが、今後補助金がなくなれば赤字経営になるのか（安部委員）

→ コロナの影響で患者数が減少している。患者さんが戻ってこなければ収益が上がらないという不安はある。ただし少なくとも今年度は前年同様に県が補助すると聞いており、本年度については大丈夫ではないかという認識である。ただし次年度以降は厳しい経営が見込まれるのではないかと判断している。

→ もともとずっと黒字経営であったが、令和元年度は初めて赤字になった。これも新型コロナウイルスの影響により1月頃から、受診控えがあったことやそれによりインフルエンザも発生しなかったためとみられる。令和2年度も同様の理由から患者さんの受診行動が減ったことに加え、病院側も患者さんが頻りに病院に来なくてよいように、外来の診療をできるだけ減らした（通常は2か月に1回であるが、それを3か月～4か月に1回などと減らした）ことなどが減収につながっている。本年度に関しては補助金があるため黒字経営になると考えているが、次年度以降については、補助金がなくなったときにインフルエンザなどが流行らなければ、赤字になることが予想される。今の生活スタイルがずっと続けば、小児科や耳鼻科などの医療機関を含め内科系の当院も厳しい状況が続くことが予想される。（東山理事長）

○松浦中央病院というのは私立なのか公立なのか。（安部委員）

→ 松浦中央病院はJCOH（ジェイコー）であり公的病院に含まれる。（事務局）

○昨年はインフルエンザの患者さんが少なく収益が落ちたということであるが、今現在インフルエンザはどうなのか。（宮地委員）

→ 昨年の冬は全く流行らなかった。通常であれば9月から10月頃になれば少しは患者さんが出てくるが、今年もそれが見られないので、インフルエンザについては少なくとも海外から渡航者を入れない限りは、そう簡単には流行らないと思われる。（東山理事長）

○インフルエンザが流行らないということは、今年についても収支は厳しい状況となるのか。（宮地委員）

→ コロナの影響が続いているので、収益的には補助金がなければどの医療機関も厳しい状況は続くと思われる。逆にコロナが蔓延すれば収益につながる場所もあるかもしれないが、なかなか読みづらいところである。

○この評価結果については何か意見はないか。市の最終評価についてこの内容で理解できるということであるらしいか。

→ はい。異議なし。(一同)

○意義がないようなのでこの評価結果については特に異論なしで報告する。

■議題1 佐世保市総合医療センター令和2年度の業務実績評価について

○今年度は補助金の増加や患者の減少などほとんどコロナの影響を受けている。よってコロナだから特殊な中での評価だったのか、それを差し引いても十分な評価だったのか、それについての事務局の考えはどうであったのか。(安部委員)

→ いったんコロナの影響を加味せず、目標に届いていないものは通常評価としてそのままの悪い評価をした。その後、コロナの影響を考慮した最終評価を行うという2段階で評価している。

○患者さんのベッドサイドの床頭台に情報端末がセットされたということで、かなり安全性、効率性でプラスの評価をされているが、導入されたことで患者さんがベッドサイドで転倒された場合などリアルタイムで情報が共有できるなどの効果が出ているのか。(山崎委員)

→ 当初懸案であった看護師の血圧測定など、そうしたインシデントを防ぐという意味で導入を図った。現在のところ順調に当初想定した効果は発揮できているものと見ている。(小村事務部次長)

○補助金が高額となっているが、病院側から国や県に請求するシステムなのか。また、もらった補助金は渡しきりで返還等の義務はないのか。(宮地委員)

→ 補助金については病床確保の補助金として昨年度27.6億円ほど頂いた。県から頂いたもので、頂いた限りで決算は終わっている。本年度についても補助金が出ると聞いており、最終的な金額は不明であるが、いただけるものと伺っている。(神崎専務理事)

○その補助金については、こちらの方からどれくらいほしいと言って補助されるのではなく、予算建てされたものが医療センターに対し振り込まれるということなのか。(宮地委員)

→ 1床に対する補助金の単価が決められており、病床を確保した病院については共通していただける補助金だと認識している。(神崎専務理事)

○ほかに評価結果についてのご意見はないか。(木村委員長)

→ はい。(一同)

○特になければ事務局案の評価結果に対する委員会の意見はなしとさせていただく。(木村委員長)

■議題3 佐世保市総合医療センター第2期中期目標期間の業務実績見込評価について

○一般的に患者が病院を評価するときに病気を治すことを基準とした評価(あそこの病院に行けば治るよなどといった)があるが、この評価項目には例えばがんの治癒率が何%とかそういう項目はないのか。(安部委員)

→ そうしたことは現時点では目標として掲げてはいない。がん関係の数値目標としては「がんの入院患者数」、「悪性腫瘍の手術件数」「放射線治療の件数」などしかない。

→ がんの登録はやっているが、治癒といったデータまではつかんでいない。よって現時点の評価としては患者数とか治療件数の増減で見るしかないのかなと思っている。

○がんの治癒率のデータについて、全国や地域ごとなど比較のデータは公表されているのか。(木村委員長)

→ がんをはじめとする悪性腫瘍については、治癒という言葉はあまり用いない。寛解（かんかい）という言葉が用いられる。どこをもって治癒というのは、いろんなファクターが関与してくることから、そういった具体的なデータがあるということはあまり聞いたことがない。（井上保健所長）

○事務局案の評価結果には異論はない。意見はないということでよろしいか。（木村委員長）

→ はい。（一同）

○特に見込み評価案に対しての意見は無いようなので評価に関しては意見なしとしてまとめる。（木村委員長）

■議題4 佐世保市総合医療センター役員報酬等規程の一部改正について

○意見や質問はないか。

→ はい。（一同）

○それでは特に質問や意見もないようなので役員報酬等規程の改正については意見なしということで報告する。（木村委員長）

※審議の順番については、都合上 議題2、議題1、議題3、議題4の順番で行った。